令和４年度　　経営発達支援事業

事業評価報告書

福崎町商工会

令和 5 年 4 月 25 日

【全体の講評（総括）】

中小企業診断士　荒木慎吾

事業評価委員会の各委員の評価とコメントを拝読させて頂き、全体の講評（総括）をさせて頂きます。冒頭に、「事業評価報告書に関する事業評価委員からの質問等への回答」を事務局から行って頂いた為、各委員の積極的な発言・意見交換が出来ました。まず、「Ⅰ.経営発達支援事業の内容」については、多くの項目で各委員が高く評価しており、概ね当初の計画に沿った実績が確認できます。「６．新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること」では B～C 評価がありましたので、コメントを参考しながら、次年度に活用してください。令和 5 年度は福崎町に創業支援補助金が創設されており、申請を希望される人の中には、既に事業計画書の作成に取り掛かっている人もいます。福崎町地域振興課 成田委員からも、創業支援補助金の積極的な活用を呼びかけられており、今後も商工会と連携したいとの発言がありました。一方、経済動向調査レポートについては、会員事業所の事業計画策定支援の際の「外部環境分析ツール」として活用できる可能性がありますので、必要に応じて活用してください。また、事業承継セミナーはターゲットを絞った個別相談に切り替えて実施するなど、他の商工会では少し工夫しながら実践されていますので、参考にしてください。

次に、「Ⅱ．地域経済の活性化に資する取り組み」については、全ての項目で各委員が高い評価をしています。「２．福崎町、観光協会等と連携した福崎町特産の「もちむぎ麺」の販路拡大、民俗学の父「柳田國男」を活用した観光産業への支援」の効果もあり、マスコミに取り上げて頂ける機会も増加しています。また、「Ⅲ．経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み」についても、全て項目で各委員が高く評価していますので、次年度もこの取り組みを継続してください。尚、次期の経営発達支援計画を策定される際には、「経営発達支援計画の申請ガイドライン」を参考に申請に向けた準備を進めて頂き、特に「DX に向けた取り組み」については、兵庫県商工会連合会 辰巳委員からも発言がありました通り、これまでの計画には無い項目ですので、他の商工会の取組みも参考にしながら、取り組んでください。

近年、福崎町では新たに創業される人が多く、新しい店舗が少しずつオープンしています。また、既存事業からの転換を図る事業再構築に取り組まれている企業も多くなっています。これらは、福崎町商工会が積極的に経営支援をされてきた賜物ですので、こういった支援事例が兵庫県内に広がっていくことを祈念しております。

以上

事業評価及び見直しをするための仕組み（計画書 14P）

経営発達支援計画を円滑かつ効果的に進めるために、行政や支援機関等の外部有識者による事業評価委員会を設置し、年１回事業の成果、評価及び見直しを行うとともに、その結果を当会のホームページにより公表し、福崎町商工会の実施する経営発達支援事業の効果的な PDCA サイクルを構築する。

事業評価委員会

区分	所　　属	役　　職	氏　　名
委　員	中小企業診断士		荒木　慎吾
	日本政策金融公庫姫路支店	支店長	佐藤　文昭
	中小企業大学校関西校	校長	皆川　芳隆
	福崎町地域振興課	課長	成田　邦造
	兵庫県商工会連合会	広域指導センター所長	辰巳　博計
	福崎町商工会	会長	大井　克哉
		副会長	小幡　八郎
		副会長	橋本　正彦
事務局	福崎町商工会	事務局長	木村　真一
		事務局次長　兼 経営支援課長	小林　賢一
		経営支援課主幹	安本　直美
		総務課係長	大道　裕子
		経営支援課主任	中川　竜矢
		経営支援課主任	船田　和夫

（評価方法）

①事業ごとに設定した数値目標に対する実績並びに実施した内容を明記する。また、実施した事業（セミナー等）に対する参加者からアンケートを取りまとめる。

②外部有識者から①を基に事業成果に対する評価・見直し案について提示を受ける。

③評価・見直し案作成のうえ、評価委員会にて事業評価を実施。事業見直し案を作成する。

【評価の目安】
A：達成率 90～100%　B：達成率 70～89%　C：達成率 40～69%
D：達成率　1～ 39%　E：達成率　0%

（改善方針の決定）

正副会長会において評価・見直し案を提出、改善方針を決定する。

（事業の成果・評価・見直しの結果の報告及び承認）

理事会・総代会に報告し、承認を受ける。

（公表）

商工会ホームページにて事業評価及び見直した事業計画を公表する。

Ⅰ.経営発達支援事業の内容

1．地域の経済動向調査に関すること【指針③】(計画書 4～5P)

【取組んだ内容】

中小企業景況調査（地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態等諸情報を迅速・的確に収集・提供し、経営改善普及事業の効果的な実施に資するもの）を異なる業種で 7 事業所を対象に四半期ごとに実施し、分析を行った他、兵庫県・経済雇用情調査や地域金融機関からの景況調査を取りまとめ、経済動向調査レポートとして商工会のホームページに 4 回掲載した。

また、全国連より取り纏められた調査結果を福崎町商工会ホームページ上にて 11 回掲載した。

職員が、地域の経済・消費動向の現状を把握することにより個社の経営方針や事業計画策定への活用材料にすることができ、各種情報や統計資料を提供することにより小規模事業者等が地域経済環境と共にマクロ的動向把握への指標としていただくことができた。

【外部リンク】景気動向・各種統計 – 商工会ホームページ

【令和 4 年度の目標及び実績】

項　　目	単位	目標	実績
現在行っている調査の取りまとめと分析	回	4	4
兵庫県・経済雇用情勢調査活用	回	4	4
地域金融機関・景況調査活用	回	4	4
上述の調査を福崎町商工会が取りまとめ HP 及び会報において公表する回数	回	4	4

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	目標を達成されており、充分な実績が認められる。（荒木）
A	ー（佐藤）
A	目標を達成しており評価できる。今後も、小規模事業者等が事業計画策定等で効果的に調査レポートを活用できるよう、活用サポートや必要に応じて内容見直しも期待したい。（皆川）
A	コロナによる経営状況を把握するため重要でした。町内の事業所の景気動向の参考にさせていただきました。（成田）
A	着実に実行しＨＰ内にもわかりやすく掲載されている。情報提供によって具体的な成果につながった事例紹介があればなおよい。（辰巳）

2．経営状況の分析に関すること【指針①】(5～6P)

【取組んだ内容】

①事業計画策定セミナーの開催

・名　称：初めてでもできる経営計画書の作り方・活かし方セミナー

・日　時：令和 4 年 9 月 2 日（金）、9 月 28 日（水）

各回とも 13:30～15:30

・場　所：福崎町商工会館 2 階多目的ホール
・講　師：中小企業診断士　荒木 慎吾 氏
・参加者：9 月 2 日 17 名、9 月 28 日 13 名

創業間もない方や若手経営者、女性事業家、後継者、その他事業をされている方を対象に初めての方にも分かりやすい内容で、事業計画書策定セミナーを 2 日間実施した。両日ともゲストによる事例発表を行い、体験を聞くことで具体的イメージを持っていただき、経営計画をより身近なものとしてとらえていただく内容とした。

【外部リンク】募集チラシ.pdf

セミナー終了後は継続的に個別相談を行い、専門家のアドバイスを受けながら円滑な経営計画書策定へ向けての支援を行った。また、経営計画が事業の見直しや再構築を図る良い機会となるよう、事業発展に向けた支援も行った。

具体的には小規模事業者持続化補助金申請支援時に 11 件、ものづくり補助金申請支援時に 1 件、事業再構築補助金支援時に 4 件、事業継続支援事業支援時に 3 件、中小企業新事業展開応援事業支援時に 8 件、起業家支援助成金支援時に 5 件、経営革新計画支援時に 3 件、経営力向上計画支援時に 1 件、先端設備等導入計画支援時に 3 件、事業継続計画（BCP）支援時に 3 件、事業継続力強化計画支援時に 3 件、創業セミナー開催時に 7 件、合計 52 件の経営分析を行った。

【令和 4 年度の目標及び実績】

支援内容	3 年度 実績	4 年度 目標	4 年度 実績
経営分析セミナーの開催	開催数 1 回 参加者 9 名	開催数 1 回 参加者 15 名	開催数 1 回 参加者 24 名
経営分析件数	65 件	30 件	52 件

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	目標を上回る実績が認められる。（荒木）
A	ー（佐藤）
A	３項目全てで目標を上回る実績を上げており評価できる。今後も、課題である「経営不振にあえぐ小規模事業者に対する効果的なアドバイスや提案」が実現されるよう、取り組み内容の検証・見直し等を期待したい。（皆川）
A	目標値以上の実施でした。職員の努力が見受けられる。（成田）
A	具体列記しているものはいずれも経営分析を行うことで計画の信頼性を高めたと推定する。セミナー定員 20 名に対し参加者 24 名なのは延べカウント？（辰巳）

３．事業計画策定支援に関すること【指針②】（計画書 6～7P）

【取組んだ内容】

①事業計画策定セミナーの開催

開催要項は『２．経営状況の分析に関すること』に記載の『経営革新計画認定のための経営分析・事業計画策定セミナー』に同じ

将来にわたって事業を継続させ、目標を達成するためのツールとなる経営計画書の策定セミナーを、初めて事業計画を立てられる方でも分かるように、やさしい内容で解説した。これまで気付いていなかった自社を知ることにより、事業改善・見直し、新たな取組のための効果的な計画づくりを支援できた。セミナー後の職員によるフォローアップや個別相談会等におい経営革新計画認定のための作成支援を行っている。

②事業承継セミナーの開催

・名　称：先代と後継者のための事業承継セミナー
・日　時：令和４年８月 25 日（木）19:00～21:00
・場　所：福崎町商工会館２階多目的ホール
・講　師：兵庫県事業承継・引継ぎ支援センター　永久 修 氏
・参加者：６名

経営者から後継者への円滑な承継へ後押しする立場としてのポイントを習得していただいた。兵庫県事業承継・引継ぎ支援センターから、中小企業診断士の永久　修氏を招き、中小企業者の事業承継状況事業承継や国や県の補助金の支援メニューについて説明頂き、自社の現状、これからの理念・方針を考え、事業承継計画が策定できるよう支援した。

【外部リンク】募集チラシ.pdf

③創業セミナーの開催

・名　称：集客で差をつける　福崎町創業セミナー
・日　時：令和４年４月４日（月）、４月 11 日（月）、
　　４月 18 日（月）、４月 25 日（月）
　　各回とも 13:15～15:15
・場　所：福崎町商工会館２階多目的ホール
・対　象：これから創業しようとしている方
　　将来事業を立ち上げたい方
　　創業されて５年未満の方
・講　師：兵庫県よろず支援拠点コーディネーター
　　中小企業診断士　多田 やす子 氏
　　中小企業診断士　社会保険労務士 川本 久美子 氏
　　SEVEN STARS　代表　松山 友也 氏（創業事例）
　　日本政策金融公庫姫路支店 融資第二課長　大西 康平 氏
・参加者：７名

令和 4 年中にはセミナー参加者の創業が 2 件あり、また過年度に受講された方の創業も２件あった。セミナー参加者以外で兵庫県が実施する起業家支援事業助成金の申請に向けた支援を５件実施し、１件が採択された。

【外部リンク】募集チラシ表面.pdf　募集チラシ裏面.pdf

その他、小規模事業者持続化補助金、ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金申請者等に対し事業計画作成支援を行い、計 53 件の事業計画策

定支援を実施した。
　分析と計画策定の件数の差異については、経営計画策定セミナー受講者が新たな計画を策定したもの。

【令和４年度の目標及び実績】

項目	年度	３年度 実績	４年度 目標	４年度 実績
事業計画策定セミナー開催数	回	1	1	1
受講者数・事業計画策定件数	人	9・2	15	24・1
事業承継セミナー開催数	回	1	1	1
受講者数・事業計画策定件数	人	16・16	5	6・0
創業セミナー開催数	回	1	1	1
受講者数・事業計画策定件数	人	13・13	5	7・7
その他事業計画策定件数	件	52	－	45
事業計画策定件数	件	83	25	53

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	目標を上回る実績が認められる。他の商工会では事業承継セミナーの集客に苦慮されている為、模範となる取り組みである。（荒木）
A	－（佐藤）
A	全ての項目で目標を達成しており評価できる。一方で、各セミナーの参加者数（事業計画策定セミナーを除く）やセミナー受講者の事業計画策定件数が昨年度実績と比べて大きく減少している点は気になる。（皆川）
B	Ｒ３年度実績に比べて受講者数が減っています。課題です。（成田）
B	セミナー目標値が受講者数なのか策定件数なのかで判断が変わるが、創業、事業承継の分野をきっちりカバーし、意欲を持つ方の機会を確保できている。前項の経営分析セミナーと本項の事業計画策定セミナーが同一とのことだが、開催数が前者２回、後者１回の区分が不明。（辰巳）

４．事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】（7～8P）

【取組んだ内容】
　令和４年度に策定した事業計画 53 件及び過年度に策定した事業計画に対し、策定支援にかかわった職員が延べ 115 回訪問。計画の進捗状況やその後の課題等の把握を行った。

【令和４年度の目標及び実績】

項目	年度	３年度 実績	４年度 目標	４年度 実績

フォローアップ対象事業者数	社	83	25	34
職員による訪問延件数	件	186	100	115

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	目標を上回る実績が認められる。（荒木）
A	ー（佐藤）
A	２項目とも目標を上回る実績を上げており評価できる。（皆川）
B	Ｒ３年度実績に比べて事業者数が大幅に減っています。理由は。（成田）
B	目標は達成しているが 3 年度実績と比較して判定した。他の項目に比べて記載内容がやや簡素になっているが、3 年度に比べて低下した理由や、115 回の内訳（訪問頻度の計画対比等）にも言及してほしい。（辰巳）

５．需要動向調査に関すること【指針③】(8～9P)

【取組んだ内容】

事業計画策定支援を行った事業所を対象に店頭等での消費者アンケートを 2 件実施し、アンケートの分析及び改善計画の策定等事業所支援を行った。商談会については国際フロンティア産業メッセ 2022 及び FOOD STYLE Kansai2023 にてアンケート調査による需要動向の調査支援を 3 件行った。

消費者アンケートについては専門家派遣制度を活用し、アンケートの作成・取り方・分析・事業計画策定の支援を行った。1 者（飲食・宿泊業）についてはレストラン利用者を対象に 30 件回収。回収したアンケート回答内容から、メニュー等の改善や PR 手法についての指導による売上向上への支援を行った。もう 1 者（飲食業）については 1 週間で 188 件回収。回収したアンケートは集計の後、クロス分析を行い、分析結果については売上回復に向けた事業計画の策定に活用した。

国際フロンティア産業メッセ 2022 では 2 者のアンケート調査の支援を実施し、1 者（革製品製造業）については、ブース来場者に対してアンケート調査の支援を実施し、2 日間で 69 件回収。回収したアンケート調査をもとに専門家派遣を行い、クロス集計分析を実施し、出展商品の機能性について改善に繋がっている。もう 1 者（縫製関連品製造業）については、2 日間で 20 社と名刺交換。交換先には海外と取引を行っている所もあり、新たな販路開拓にも繋がっている。

FOOD STYLE Kansai2023 では 1 者（納豆製造業）のアンケート調査の支援を実施し、2 日間で 62 件回収。回収したアンケートは集計の後、クロス分析を行い、分析結果から商品改良が必要と判断したため、専門家派遣制度を活用し、商品改良の支援を行っている。

【令和 4 年度の目標及び実績】

項　目	単位	3 年度 実績	4 年度 目標	4 年度 実績

①調査対象事業者数（BtoC）	件	2	2	2
②調査対象事業者数（BtoB）	件	2	2	3

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	目標を上回る実績が認められる。（荒木）
A	ー（佐藤）
A	２項目とも目標を上回る実績を上げており評価できる。また、調査結果のフィードバックにとどまらず、専門家派遣等フォロー支援の実施により改善の取り組みに繋がっている点も評価できる。（皆川）
B	目標どおり実施できている。（成田）
A	調査設計から成果につながる支援まできっちり実行している。アンケート調査数や回収数、成果も一覧表として参考表記すればよくやっている感がより可視化されるのではないか。（辰巳）

６．新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】（10～12P）

【取組んだ内容】

小規模事業者の新たな需要開拓による新規顧客の獲得や売上増加を目指し、『国際フロンティア産業メッセ 2022』『FOOD STYLE Kansai2023』への出展支援を各２者に実施した。

国際フロンティア産業メッセ 2022 については出展前に VMD の専門家である池松美千代氏を派遣し、出展に向けたブースづくり等の支援を実施した他、別途職員による商品改良に向けたアンケートの作成・調査・検証を支援した。

FOOD STYLE Kansai2023 については兵庫県商工会連合会の取りまとめの下、15 商工会 53 事業者が共同で出展、当会も参画した。また本商談会に出展することによる効果を最大限高めるため、出展前に商談会出展支援セミナーの開催、個別相談（対象は商談会出展者）を兵庫県商工会連合会主導のもと実施した。商談会終了後は、職員が巡回による事後フォローを行い、専門家派遣制度を活用し、商品の改良や生産能力の向上等に向けた支援を実施した。

国際フロンティア産業メッセ 2022 への出展者について１者は売上が増加したものの、もう１者については前年同時期の売上が一時的に増加していたため、対前年比で減少する形となった。

FOOD STYLE Kansai2023 については２者とも 10 件以上の商談となり、１者は２件の成約があったものの、もう１社については成約に繋がらなかった。５．需要動向調査に関することに記載の通り、アンケート調査の結果から商品の見直しが必要と判断したため、令和５年度に向けて商品改良及び PR 方法についての支援を継続する。

【令和４年度の目標及び実績】

項目	単位	３年度 実績	４年度 目標	４年度 実績
① 展示会・即売会の出展者数	者	5	2	2

② 支援後の月間売上増加額／者	万円	21	10	-3
③ 商談会の出展者数	者	2	2	2
④ 成約件数／者	件	16	2	1

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
B	月間売上増加額と成約件数は未達だが、積極的に支援されている点を考慮した。（荒木）
B	商品改良、PR 方法についての支援に期待する。（佐藤）
C	４項目中２項目で目標未達となっている。売上増加額や成約件数という相手がある難しい指標ではあるが、次年度での目標達成に向けた更なる支援の工夫を期待したい。（皆川）
C	Ｒ３年度と比較して減となっています。令和５年度は、ウイズコロナとして動いてください。（成田）
B	販路開拓の機会提供はしっかりできている。FOOD STYLE Kansai2023 は初日の大寒波による交通機関マヒの影響があったと推定する。（辰巳）

Ⅱ．地域経済の活性化に資する取組み（11～12P）

１．福崎町、地域の金融機関、工業団地に進出する企業と連携して、「福崎町中小商業者応援券」（プレミアム付商品券）の継続的な発行

【取組んだ内容】

福崎町内の消費拡大及び地域中小企業者への振興、活性化を図ることを目的として、平成 11 年度から毎年プレミアム付（10%プレミアム）を発行している。令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症対策事業として、また中小企業支援施策であることを強調するため「中小商業者応援券」と名称を変更し、20%のプレミアム付き総額 84,000 千円を発行した。会員向け DM 発送、町内新聞折込で応援券発行周知、加盟店の募集案内等を行い、本事業を充実させた。本事業実績については以下の通り。令和 5 年度も引き続き、県補助金を活用して 20%のプレミアム付で総額 84,000 千円を発行予定である。

・使用期間：令和 4 年 8 月 1 日～令和 5 年 1 月 15 日（6 ヶ月間）
・発行総額：84,000 千円（完売）
・加盟店舗数：144 店舗
・換金額：83,671 千円（換金率 99.61%）

【外部リンク】加盟店一覧.pdf

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	商品券は完売されており、換金額もほぼ 100%である為、A とした。（荒木）
A	ー（佐藤）

A	応援券は完売、換金率 99.61%ということで、福崎町内の消費拡大に繋がっていると思料され評価できる。（皆川）
A	コロナ対策事業として、事業者への売上応援と住民支援として取り組んでいただきありがとうございました。（成田）
A	発行総額、換金率等から管内の消費喚起に寄与できていると推定する。利用実績（業種別、地域別等）の分析結果があれば、意見や提案が集まりやすいのではないか。（辰巳）

２．福崎町、観光協会等と連携した福崎町特産の「もちむぎ麺」の販路拡大、民俗学の父「柳田國男」を活用した観光産業への支援

【取組んだ内容】

町内外のイベントに参加して、もちむぎ麺をはじめとする「もちむぎ商品」の販路拡大、福崎町のＰＲ等を行った。

① 10 月 29 日（土）に 3 年ぶりとなる産業祭を開催し青年部、女性部が「もち麦」を使った食べ物を販売し、町民等に対して周知を行った。内容は次のとおり。

青年部　もちむぎガジロウラーメン（煮卵入りもちむぎラーメン）　320 食
女性部　もち麦粉入りお好み焼きの販売　150 食

② 2 月 25 日（土）、26 日（日）に 4 年ぶりに開催された「姫路マラソン祭」にて但陽信用金庫、中播磨地区商工会連絡協議会と連携し、特産品等の販売を行い福崎町の PR に努めた。また、昨年度作成した「もちむぎショップガイド」の配布を行い、町内の飲食店等の紹介を行った。

姫路マラソン祭りの販売品・数量は以下のとおり。

・かっぱカレー	3 個	・もちむぎ精麦	6 個
・もち麦カレー	7 個	・もちむぎ麺（M-8）	1 個
・もちむぎ煎餅	16 袋	・もちむぎ素麺福の糸（S-5）	3 個

福崎もちむぎショップガイド（fukusaki.or.jp）

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	地域の特産品を積極的に PR されている点を評価し A とした。（荒木）
A	ー（佐藤）
A	多くの人が集まるイベントでのＰＲ活動ということで、効果が期待され評価できる。（皆川）
A	商工会活動と町が実施する観光施策によって、令和４年度の観光客入込数は過去最高の 60 万人を超えました。今後も連携して観光振興・商工業の活性化を推進しましょう。（成田）
B	ショップガイドはよく整理してまとまっている。記載店の売上拡大につながった検証があればなおよい。（辰巳）

３．日本遺産「鉱石の道・銀の馬車道」を活用した地域おこし

【取組んだ内容】

銀の馬車道ネットワーク協議会（所管：中播磨県民センター）に参加し、関係機関、各市町との各地域や団体での活動等情報交換を行った。

中播磨地区商工会連絡協議会としてポストコロナ、アフターコロナに向けて外国人を含む観光客に対し、銀の馬車道沿線に来ていただくため、兵庫県立芸術文化観光専門職大学　学長　平田オリザ氏を招聘して「銀の馬車道沿線の地域観光とおもてなし」をテーマに「銀の馬車道おもてなし講演会」を開催した。参加者は中播磨４商工会の会員など 92 名の参加であった。

また、「銀の馬車道グルメ＆ガイドブック」デジタル版冊子を作成して、参加した加盟店にＱＲコード付きカードを配布。地域住民や観光客が、デジタル版冊子を見れるようにした。

【外部リンク】銀の馬車道おもてなし講演会 – 福崎町商工会 (fukusaki.or.jp)

銀の馬車道グルメ＆観光ガイドブックにアクセスするためのQR コード付きカードが完成しました – 福崎町商工会 (fukusaki.or.jp)

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	講演会の集客やデジタル版冊子の発行を積極的に行っている点を評価し、A とした。（荒木）
A	－（佐藤）
A	中播磨地区の広域的な地域おこしの取り組みであり、姫路市経由での観光客の来訪等も期待され評価できる。（皆川）
B	認定から５年が経過しＲ５年度は再認定となります。県・沿線沿いの市町・商工会が連携して取り組みましょう。（成田）
A	関係機関と連携し、きっちり企画実行ができている。（辰巳）

４．地域イベント「ふくさき産業祭」の充実

【取組んだ内容】

新型コロナウイルス感染症の影響で 3 年ぶりの開催となった。密を避けるため福引大会を中止し、謝恩抽選会は会場での抽選会を実施せず、関係者のみで抽選を行い、後日当選者に郵送した。また、アルコールの飲酒を禁止する等の対策をとり、その他については通常開催とした。

制約のある中での開催であったが、結果的に多くの方が来場し、展示即売会に出展された飲食店においては予定していた商品が完売する等盛況であった。

実 施 日：令和 4 年 10 月 29 日（土）9 時 45 分～14 時 40 分
開催場所：福崎町エルデホール・商工会館周辺
来場者数：10,000 人
内　　容：展示即売会、ステージイベント、ミニ動物園（ふれあい夢牧場）、

謝恩抽選会、工業団地パネル展示、警察・消防車両の展示、
福崎町観光レンタカー妖怪ガジ Pod（ポッド）展示

【外部リンク】福崎秋まつり・産業祭のご案内 – 福崎町商工会（fukusaki.or.jp）

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	多くの方が来場されており、妖怪の PR にも貢献されている点を評価した。（荒木）
A	ー（佐藤）
A	新型コロナの影響が残る難しい状況の中での開催にも関わらず、１万人の来場者、出展された飲食店の商品が完売する等の成果が出ており評価できる。（皆川）
A	3 年ぶりに開始となりました秋まつりは、文化講演会、産業祭、そして遠野市長をお招きし盛大に実施されました。（成田）
A	コロナ禍の制約が残る中、感染対策をしっかりしたうえで取り組んでいる。（辰巳）

５．JR 福崎駅周辺における商業の活性化

【取組んだ内容】

令和元年 10 月に駅前観光交流センターのオープン、令和 2 年 10 月に福崎駅前にある町有地にウエルシア（ドラックストア）が出店して以来、小規模な店舗も出店しており、駅周辺の賑わいが復活し周辺地域からの買い物客も増えてきている。これまで商業施設が少なかった駅前周辺において買い物が不便であった件については、ある程度、解消されてきている。

令和 4 年度においては、福崎町商工会青年部主催による「駅前交流広場でビアガーデン」（下記 HP 参照）を開催。キッチンカーが集結するグルメイベントとしても人気の「FukuFes.」とコラボし、駅前地域の活性化に貢献した。

また、平成１８年度の福崎町制５０周年を機に設置した「ふくさきルミネール」（イルミネーション）を設置点灯し、福崎駅周辺の活性化と賑わいを演出している。令和４年度も 12 月～1 月にかけて点灯した。

●令和 4 年 7 月 16 日（土）に開催した青年部主催のビアガーデンの案内
福崎駅前交流広場でビアガーデン – 福崎町商工会（fukusaki.or.jp）

●令和 4 年 9 月 9 日（金）・10 日（土）に開催した青年部主催のビアガーデンの案内
福崎駅前交流広場でビアガーデン – 福崎町商工会（fukusaki.or.jp）

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	経営支援等で多忙な時期にも拘らず、積極的に取り組まれている点を評価した。（荒木）
A	ー（佐藤）

A	イベント開催など駅前の賑わいづくりが着実に進められており評価できる。今後は更なる商業活性化に向けた商店等の誘致や空き店舗活用等を期待する。（皆川）
A	商工会青年部などの協力のもとビアガーデンが開催できました。今後も継続できたらよいですね。（成田）
A	青年部活動と駅前商業の活性化をうまくコーディネートして賑わいを演出できている。（辰巳）

Ⅲ．経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み（12～13P）

１．他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

（事業内容）

① 広域支援機関との連携

【取組んだ内容】

兵庫県商工会連合会において、事務局連絡会が 4 回開催され出席。県連から新事業や施策の説明、他の商工会の状況等情報交換を行なった。

中播磨地区商工会において、事務局会の開催や中播磨県民センターとの意見交換会を開催し、商工会同士の情報交換や、県へ令和 5 年度商工業振興関係予算に対する要望を行った。

また、税務署、近畿税理士会姫路支部、中播磨地区商工会の 3 者で税務連絡会を開催し、確定申告指導に係る事務連絡や税理士派遣について協議を行った。

名称	回数	日程
兵庫県商工会連合会　事務局連絡会議	4 回	6/9・9/16・12/9・2/13
中播磨地区商工会連絡協議会　事務局会	4 回	5/10・7/16・10/13・2/2
中播磨県民センターとの意見交換会	1 回	12/15
中播磨税務連絡会	1 回	12/7

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	他の支援機関とも積極的に連携されている点を評価した。（荒木）
A	ー（佐藤）
A	周辺商工会等と定期的に情報交換・意見交換を行い、連携を深めていることは評価できる。（皆川）
A	商工団体との情報共有ができています。（成田）
A	管内の関係機関としっかり連携できている。（辰巳）

②専門家及び兵庫県よろず支援拠点との連携

【取組んだ内容】

兵庫県よろず支援拠点と連携して 4 月 4 日、11 日、18 日、25 日の 4 日間に渡り、「集客で差をつける福崎町創業セミナー」を開催し 7 名の参加があった。セミナーでは、経営、財務、人材育成、販路開拓について学び、創業計画書の作成を行った。

また、各種専門家派遣制度を活用して小規模事業者の課題解決や事業計画策定支援、販路開拓やＩＴ支援を行った。

派遣制度名	件数
兵庫県商工会連合会チーフアドバイザー派遣制度	27
兵庫県商工会連合会課題別経営サポート支援事業	7
兵庫県商工会連合会情報発信支援員（IT アドバイザー）	3
兵庫県商工会連合会制度改正に伴う専門家派遣事業	4
商工会・商工会議所の相談機能強化事業	48
労働環境チェック事業	3
事業環境変化対応型支援事業	46
合　　計	138

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	よろず支援拠点との連携については、他の商工会の模範となる取り組みであり、特にこの点を評価した。（荒木）
A	ー（佐藤）
A	小規模事業者の課題に応じて、他機関の支援施策を活用した連携支援が行われており評価できる。（皆川）
A	商工会員への指導・支援ができています。（成田）
A	ﾁｰﾌｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣制度の 1 商工会あたり平均利用回数 12 件に対し、27 件の実績。各分野の専門家派遣事業を適切に実行している。（辰巳）

③地域金融機関との連携

【取組んだ内容】

・福崎町商工会が開催する創業セミナー（4 月 4 日、11 日、18 日、25 日開催）を特定創業支援事業として地域金融機関と連携して開催した。

・中小商業者応援券（プレミアム付き商品券）発行時に換金手数料を無償とし、地域中小商業者の活性化に協力していただいた。

・みなと銀行福崎支店の店内に地域の特産品コーナーや店外ショーウインドウに、令和 2 年度から妖怪ベンチマップと観光案内版について設置していただき、福崎駅から辻川公園他妖怪ベンチマップへの観光に繋げていただいた。

・10 月 29 日に開催した産業祭において、みなと銀行、但陽信用金庫の職員に手伝って頂くなど地域活性化に協力していただいた。

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	地域金融機関とは良好な関係を構築されており、この点を評価した。（荒木）
A	ー（佐藤）
A	地域金融機関との各種連携の取り組みが実施されており評価できる。（皆川）

A	連携がとれています。（成田）
B	地域振興での連携は十分できている。経営支援の分野での連携実績がもう１例ほどほしい。（辰巳）

④株式会社日本政策金融公庫姫路支店との連携

【取組んだ内容】

・4 月 25 日開催の創業セミナーにて融資第二課長を講師に創業融資について説明いただいた。当日の参加者は７名であった。

・11 月 28 日にオンライン一日金融相談会を姫路市商工会と共同開催し、日本政策金融公庫姫路支店と商工会をオンラインでつなぎ、年末年始に向けた運転資金や設備資金等について 5 事業所からの相談を受けた。

「オンライン一日金融相談会」のご案内 – 福崎町商工会（fukusaki.or.jp）

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	日本政策金融公庫とも良好な関係を構築されており、この点を評価した。（荒木）
A	ー（佐藤）
A	日本政策金融公庫との連携支援の取り組みが実施されており評価できる。（皆川）
A	小規模事業者への支援ができています。（成田）
A	着実に連携している。来年度は事業承継マッチング等での連携成果を期待したい。（辰巳）

２．経営指導員等の資質向上等に関すること

①兵庫県商工会連合会等が主催する職責、相談業務、経営支援に必要な専門知識の習得と課題解決に向けた提案力を身に着ける為の研修に参加し、経営実態の把握や経営状況の把握及び経営計画策定など、小規模事業者の利益確保に繋がる支援能力の習得を図った。また、他の参加者の支援事例や講師の専門性を見極め、専門家活用におけるコーディネート力の向上に努めた。

特に支援に必要な知識やスキルなど会員への支援に直結する研修会が多く実施され参加した職員は、会員からの相談に対する対応力の向上に繋がった。

【取組んだ内容】

研修会・説明会等への参加について

実施日	受講者名	講座名	内　　容
4. 4. 8	中川・船田	持続化補助金WEB説明会	・事業概要 ・申請のポイント
4. 5.10	正職員	令和4年度中小企業新事業展開応援事業に係る説明会	・事業概要について ・商工会・商工会議所へのお願いについて ・今後のスケジュール
4. 5.31	中川	中小企業施策説明会	・中小企業者向け補助金 ・融資制度/信用保証制度

			・計画認定支援
4. 6. 9	木村	第1回管理者研修会	・人材マネジメント及び運営管理におけるリスクマネジメントについて
4. 6.30	小林・安本・中川・船田	令和4年度中小企業新事業展開応援事業に係る説明会	・事業概要について ・商工会・商工会議所へのお願いについて ・今後のスケジュール
4. 7. 5	船田	IT担当者連絡会議	・次期情報化基盤システムの整備について
4. 7.22	船田	課題解決力強化研修会	・課題解決のための思考法～原因と結果の明確化、仮説思考～ ・課題解決のためのツールの活用法～解決策検討プロセス、MECE、ロジックツリー～
4. 7.27	安本・中川・船田	知的財産経営支援セミナー	・映像の復習 ・非財務と財務の関係性を検討する ・メリット ・価値ストーリー
4. 7.28	船田	飲食業における原価計算の考え方研修会（オンデマンド）	・原価とは？ ・原価管理が必要な理由 ・原価管理の効果 ・最低限実施したいこと ・検証すること
4. 8. 2	船田	経営計画策定研修会（オンデマンド）	・経営力再構築支援モデル ・経営分析（事業を見つめ直す） ・経営計画作成（ポイントと全体像）
4. 8. 2	船田	IT担当者連絡会議	・次期システムの進捗状況とシステムの優先順位について
4. 8. 3	船田	伴走支援の方法と中小企業施策研修会（オンデマンド）	・なぜ支援が必要なのか？ ・これまでの支援 ・なぜ支援が必要なのか？ ・「VUCA」時代 ・変化する経営支援のあり方 ・支援モデルの構築 ・経営力再構築伴走支援モデルのフレームワーク ・対話の必要性 ・対話と信頼 ・傾聴と共感 ・腹落ち ・経営者の壁 ・PDCAサイクル ・伴走 ・課題の発見 ・OODAループ ・解決策の策定 ・支援の重要ポイント ・経営者とは ・支援者の立ち位置 ・経営者と支援者
4. 8. 3	中川	経営計画策定研修会	・経営力再構築支援モデル

		（オンデマンド）	・経営分析（事業を見つめ直す） ・経営計画作成（ポイントと全体像）
4. 8. 9	安本	管理マネジメント研修会	・ワークエンゲージメントの全体像 ・エンゲージメント形成に向けた職場づくりとメンタルマネジメント
4. 8.29	小林・船田	FOOD STYLE Kansai 2023事前対策セミナー	・商談会に出展する目的とメリット～出店効果を最大化する3つのポイント～
4. 8.30	小林	中小企業支援施策説明会	・中小企業向け施策の紹介 ・中小企業経営強化税制、投資促進税制 ・インボイス制度
4. 9.14	小林	管理マネジメント研修会	・ワークエンゲージメントの全体像 ・エンゲージメント形成に向けた職場づくりとメンタルマネジメント
4. 9.16	大道	飲食業における原価計算の考え方研修会（オンデマンド）	・原価とは？ ・原価管理が必要な理由 ・原価管理の効果 ・最低限実施したいこと ・検証すること
4. 9.22	大道	販売促進・集客支援セミナー（オンデマンド）	・集客の仕組み ・マーケティングの４Ｐ ・ターゲットの設定
4. 9.28	小林・船田	FOOD STYLE Kansai 2023事前対策セミナー	・商談会出展の具体的ノウハウについて～魅力ある商品提案、PR方法、モノの売り方～
4. 9.30	中川	課題解決力強化研修会	・課題解決のための思考法 ・課題解決のためのツールの活用法
4.10.18	小林・船田	FOOD STYLE Kansai 2023事前対策セミナー	・元スーパー経営者が語るバイヤー目線で考える商流・物流の流れ、継続取引につながる商品提案
4.11. 2	大道	戦略思考力強化研修会	・戦略策定の意義と現状分析 ・戦略の具体的な立案プロセス
4.11.10	小林	飲食業における原価計算の考え方研修会（オンデマンド）	・原価とは？ ・原価管理が必要な理由 ・原価管理の効果 ・最低限実施したいこと ・検証すること
4.11.11	安本	共済担当者オンライン研修会	・共済事業の取組意義 ・全国商工会会員福祉共済の制度内容 ・全国商工会会員福祉共済事務手続き
4.11.11	小林・船田	FOOD STYLE Kansai 2023事前対策セミナー	・商談会までにやっておきたい広報活動・プレスリリースについて
4.11.29 ～12.1	船田	中小企業支援担当者等研修	・創業、新規事業、持続化支援の考え方 ・創業の実際と支援 ・創業支援の実例 ・地域中小企業の持続的な支援と地域支援機関との連携
4.12. 9	小林	第2回管理者研修会	・商工会を取り巻く課題等について

4.12. 9	大道	マーケティング支援の進め方の研修会（オンデマンド）	・「ものづくり」とは ・売り方について ・伝えなくてはならないのは
4.12.12	船田	IT担当者連絡会議	・次期システムの概要と導入スケジュールについて
4.12.13 ～15	船田	中小企業支援担当者等研修	・持続化補助金創設の背景と基礎知識 ・経営計画策定のポイントと進め方 ・経営計画策定演習
5. 1.16	船田	R4年度法定経営指導員業務に関する実務講習	・DX総論 ・小規模事業者のDX推進 ・支援機関のDX推進
5. 1.17	安本	中小企業施策説明会	・中小企業向け補助金について ・中小企業向け税制について
5. 1.17	船田	R4年度法定経営指導員業務に関する実務講習	・中小企業を取り巻く環境変化と課題設定・自走化支援の重要性 ・経営力再構築伴走支援の概要 ・経営力再構築伴走支援の実務～事例に見る実践のポイント～
5. 1.18	大道・中川・船田	提案型公募事業研修会	・ビジネス直結！仕事がデキる整理術
5. 1.31	小林・安本・中川・船田	中播磨職員税務研修会	・令和４年分確定申告指導について ・インボイス制度について
5. 2.13	木村	第3回管理者研修会	・令和5年度県中小企業施策について ・商工会を取り巻く環境について ・労働時間と振休。代休について
5. 3.16	木村・小林・安本・中川・船田	情報セキュリティ研修	・情報セキュリティ対策 ・個人情報漏洩リスクへの対策 ・スマートフォンを業務利用する際の注意点

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	職員の資質向上には積極的に取り組まれており、Ａとした。（荒木）
A	ー（佐藤）
A	各種研修に積極的に参加し、経営指導員等の資質向上に取り組んでおり評価できる。（皆川）
A	知識力の向上に努めている。今後の指導に役立ててください。（成田）
B	参加実績は十分。受講計画や受講対象者の選定に関する仕組みに言及があればなおよい。（辰巳）

②職員の職務歴に応じて中小企業大学校が主催する研修に年１回参加する。

【取組んだ内容】

経営指導員としての必須研修（基礎Ⅰ・基礎Ⅱ）については優先的に受講させる。

受講日	受講者	講座名	内容
11/28 ～	中川竜矢	経営診断基礎（商業コース	・小規模事業者の経営特性や経営実態の捉え方、評価の仕方等基本的な知識とス

12/23 （19 日間）		基礎Ⅱ）	キルを習得し商業分析の診断･指導能力の向上を図った。

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	中小企業大学校を活用した職員の資質向上にも積極的に取り組まれており、A とした。（荒木）
A	ー（佐藤）
A	中小企業大学校の研修を積極的に活用し、経営指導員等の支援力向上に取り組んでおり評価できる。（皆川）
A	知識力の向上に努めている。今後の指導に役立ててください。（成田）
A	受講計画に基づき実行している。（辰巳）

③創業支援に必要な機関の研修を受講し、支援力の向上に努める。

【取組んだ内容】

商工会では、毎年、創業予定者等に対して県の起業家助成金の周知及び申請支援を行うためセミナーを開催している。セミナーを企画、創業支援をより効率的に推進するため、講師陣が充実している中小企業大学校関西校主催の研修会に出席し、創業支援の向上に努めた。

受講日	受講者	講座名	内容
11/29 ～ 12/3	船田和夫	中小企業支援担当者等研修～創業・新規事業・持続化支援の進め方～	・創業、新規事業、持続化支援の考え方 ・創業の実際と支援 ・創業支援の実例 ・地域中小企業の持続的な支援と地域支援機関との連携

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	セミナーの企画と創業支援のノウハウを吸収されている為、A とした。（荒木）
A	ー（佐藤）
A	創業支援に関する研修に積極的に参加し、経営指導員等の創業支援力向上に取り組んでおり評価できる。（皆川）
A	知識力の向上に努めている。今後の指導に役立ててください。（成田）
B	特に船田氏を対象にした理由記載があればなおよい。（辰巳）

④小規模事業者に専門家を派遣する際には、担当職員が同行し、専門家の指導、助言ノウハウなど高度な支援力を学ぶ。

【取組んだ内容】

小規模事業者等の多種多様な専門的経営課題を解決するため、中小企業診断士や社会保険労務士、税理士、弁護士、IT アドバイザー等の専門家派遣に職員が同席し、専門家の支援内容について共有化を図ると伴に、派遣後のフォローを

行った。（令和 4 年度専門家派遣回数 138 件）

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	専門家の支援ノウハウを積極的に吸収し、共有されている点を評価した。（荒木）
A	ー（佐藤）
A	専門家派遣への職員同行を基本とし、職支援ノウハウ習得に取り組んでおり評価できる。（皆川）
A	体制強化に努めてください。（成田）
A	必要とされる分野にきっちり派遣を実行している。（辰巳）

⑤ベテラン職員は、支援経験の少ない職員が伴走型支援を行う際に、専門家のコーディネートや支援手法など OJT により育成に努める。

【取組んだ内容】

令和 4 年度においては、人事異動により県商工会連合会に在籍していた職員 1 名の転入があり、持続化補助金等の様々な支援策について若手職員からの相談を受け、他の商工会の支援手法や専門家の活用方法等を伝える等、多様化する支援手法の情報共有に努めた。

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	県連に在籍されており、豊富な支援経験をお持ちである為、これを共有されている取り組みを評価した。（荒木）
A	ー（佐藤）
A	若手職員からの相談へのアドバイスや他商工会の支援手法を伝える等、OJT による育成に取り組んでおり評価できる。（皆川）
A	計画どおり遂行している。（成田）
A	経営支援に関する深い知識とノウハウを持つ県下№1 の当該職員がしっかりＯＪＴに取り組んでいる。（辰巳）

⑥商談会や展示会、アンテナショップに出展する小規模事業者に同行し、バイヤーとの交渉や消費者への PR 方法などを通じ、マーケティングに対してのスキルや支援力の向上に努める。

【取組んだ内容】

新たな需要開拓による新規顧客の獲得や売上増加を目指すため、西日本で最大の展示会『国際フロンティア産業メッセ 2022』と、関西最大級の食の商談展示会「FOOD STYLE Kansai」へ、出展準備から出展当日まで出展者の支援を行った。特に出展するための課題解決やノウハウ習得のため専門家派遣事業を活用し、職員も同席する事でマーケティングに対する支援能力の向上に努めた。

●「国際フロンティア産業メッセ 2022」への出展支援

開 催 日：令和４年９月１日（木）・２日（金）２日間
開催場所：神戸国際展示場１・２号館
出展内容及び商談件数等

業種	出展内容	商談件数
針・ピン・ホック・スナップ・同関連品製造業者	長年裁縫ユーザーに愛される道具類をセレクトした裁縫セットの展示	20 件
その他のなめし革製品製造業者	ナチュラル志向で自分らしく生きる女性の為のレザーファッションアイテムの展示	33 件

９月１日から２日の２日間、神戸国際展示場で行われた国際フロンティア産業メッセ 2022 に会員事業所が出展し職員が同行した。
関係業者や一般の方々に商品を PR し今後の商品改善に繋がった。

●「FOOD STYLE Kansai2023」への出展支援
小規模事業者の新たな需要開拓による新規顧客の獲得や売上増加を目指し、の出展支援を実施した。
開 催 日：令和５年１月 25 日（木）・26 日（金）２日間
開催場所：インデックス大阪１・２号館
出展内容及び商談件数等

業種	出展内容	商談件数
めん類製造・販売業者	もち麦商品２種	13 件
野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業者	全国納豆鑑評会で優秀賞・特別賞を受賞した納豆２種	12 件

１月 24 日、25 日の２日間、インテックス大阪で行われた FOOD STYLE Kansai2023 に会員事業所が出展。職員が同行し、バイヤーとの交渉や試食等での PR 方法などを通じ、マーケティングに対してのスキルや支援力の向上に努めた。

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	商談会や展示会等にも積極的に同行されている点を評価した。(荒木)
A	ー（佐藤）
A	商談会等イベントへの出展企業に職員が同行し、商品 PR やバイヤーとの交渉等を行う等、マーケティングに対する支援力向上に取り組んでおり評価できる。（皆川）
A	計画どおり遂行している。（成田）
A	管内事業所の販路開拓の機会をしっかり提供している。（辰巳）

＜情報共有による資質向上＞
①支援に関する巡回時の記録、事業者の経営状況分析結果等を経営カルテとして蓄

積し、情報の共有化を図ることで経営支援体制を構築する。

【取組んだ内容】

日々の巡回や窓口対応での記録を経営カルテとして残し、事業所ごと、また指導内容区分等の分類および検索を有効活用し、職員全体で共有することにより、必要な時に誰もが対応、活用できるよう支援体制の整備を行った。また、これらのデータ共有が会員事業所への経営支援の基礎資料として活用でき、組織全体における支援能力の向上を図った。

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	経営カルテで情報共有を図る取り組みであり、A とした。（荒木）
A	ー（佐藤）
A	支援内容に関するデータの組織内での共有化が図られており評価できる。今後は更なるデータ活用促進の取り組みを期待する。（皆川）
A	計画どおり遂行している。（成田）
A	経営カルテの活用がしっかりできている。（辰巳）

②支援会議を月 1 回の頻度で開催し、実際に関わった支援の進捗状況、専門家派遣の内容報告を共有し、支援先の優先順位などを含め全員で意見交換し、支援ノウハウと意識の共有化を図る。

【取組んだ内容】

支援会議を月 1 回以上開催し、小規模事業者に対する支援状況について各担当者から説明を行うことで、支援ノウハウと意識の共有を図った。また、今後実施する事業について担当者以外にも情報共有を図りスムーズな事業運営に努めた。

実施日	議題
4 月 5 日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・事業評価委員会について ・創業セミナーについて ・国際フロンティア産業メッセ出展について ・その他について
5 月 2 日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・事業評価委員会について ・事業継続計画（BCP）策定支援セミナーについて ・国際フロンティア産業メッセ出展について ・需要動向調査について ・その他について
6 月 1 日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・事業継続計画（BCP）策定支援セミナーについて ・令和 4 年度『伴走型小規模事業者支援推進事業』について ・需要動向調査について

	・中小企業新事業展開応援事業の内部審査の実施について ・その他について
7月6日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・令和4年度『伴走型小規模事業者支援推進事業』について ・需要動向調査について ・令和3年度経営発達支援事業実施状況調査について ・その他について
8月3日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・令和4年度『伴走型小規模事業者支援推進事業』について ・先代と後継者のための事業承継セミナーについて ・初めてでもできる経営計画のつくり方・活かし方セミナーについて ・需要動向調査について ・その他について
9月5日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・令和4年度『伴走型小規模事業者支援推進事業』について ・先代と後継者のための事業承継セミナーについて ・初めてでもできる経営計画のつくり方・活かし方セミナーについて ・需要動向調査について ・その他について
10月3日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・令和4年度『伴走型小規模事業者支援推進事業』について ・バーチャル展示会について ・需要動向調査について ・その他について
11月7日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・バーチャル展示会について ・需要動向調査について ・その他について
12月6日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・需要動向調査について ・令和5年度県連助成事業の要望について ・その他について
1月4日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・令和4年度『伴走型小規模事業者支援推進事業』について ・需要動向調査について ・新たな需要の開拓に寄与する事業について ・令和5年度県連助成事業の要望について ・その他について
2月1日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・需要動向調査について

	・新たな需要の開拓に寄与する事業について ・令和５年度県連助成事業の要望について
３月１日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・需要動向調査について ・新たな需要の開拓に寄与する事業について ・中小企業新事業展開応援事業について

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	支援会議での情報共有が成果に繋がっており、A とした。（荒木）
A	ー（佐藤）
A	月１回の支援会議での各担当者からの支援状況共有により、支援ノウハウの共有化が図られており評価できる。（皆川）
A	計画どおり遂行している。（成田）
A	頻度、回数とも目標どおり実施できており、テーマも適切である。（辰巳）

③職員会議を月１回の頻度で開催し、研修等で習得した小規模事業者の支援事例や支援に有効なノウハウを紹介し共有化を図る。

【取組んだ内容】

職員会議を月 1 回開催し、研修会や会議等で得た情報や事業に対して他の職員へ情報共有を行い、全職員の支援能力やノウハウの向上に努めた。

実施日	議題
４月 20 日	・理事会・総代会について ・ワクチン職域接種について ・会報「やまもも」発行について ・その他
５月 16 日	・総代会・総代交流事業について ・福崎町中小商業者応援券について ・BCP セミナーについて ・源泉指導について ・健康診断実施事業について ・その他
６月 15 日	・福崎町中小商業者応援券について ・源泉指導について ・健康診断実施事業について ・食品衛生講習会について ・事業承継セミナーについて ・経営計画策定セミナーについて ・中播磨地域商工会振興協議会　地域活力増進事業について ・その他
７月 12 日	・福崎町中小商業者応援券について ・食品衛生講習会について ・健康診断実施事業について

	・青年部主催ビアガーデンについて ・商工会報発行について ・その他
8 月 18 日	・青年部ビアガーデンについて ・ハラスメント相談窓口設置に伴う職場研修 ・中播磨職員協議会の事業について ・バーチャル展示会の成果報告 ・その他
9 月 13 日	・産業祭について ・会員増強キャンペーンについて ・福祉共済増強について ・役職員親睦旅行について ・その他理事会報告事項について ・生命保険募集人継続教育について ・消防訓練について ・商工会報「やまもも」発行について ・その他
10 月 18 日	・産業祭について ・監査会の結果について ・オミクロン株対応ワクチン職域接種について ・中播磨ゴルフ大会について ・銀の馬車道受入れ体制強化事業について ・商工会報「やまもも」発行について ・その他
11 月 22 日	・新年交礼会について ・年末調整について ・オミクロン株対応ワクチン職域接種について ・銀の馬車道受入れ体制強化事業について ・商工会報「やまもも」発行について ・その他
12 月 15 日	・新年交礼会について ・決算説明会について ・中播磨職員税務研修会について ・サルビアカード抽選会について ・年末年始の予定について ・第 3 回事務局連絡会の報告について ・その他
1 月 23 日	・決算説明会について ・FOOD STYLE Kansai2023 出展について ・福祉共済推進について ・その他
2 月 14 日	・2/16～3/15 決算・申告指導について ・姫路城マラソン 2023 出展について ・マイナンバー収集管理システムについて ・指導件数のカウントについて ・その他
3 月 16 日	・新システム導入のための VPN 工事について ・監査資料の作成について

	・事業評価報告書の作成について ・福祉共済に係るジブラルタ生命保険会社との連携について ・労働保険年度更新について ・その他

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	職員会議での情報共有が成果に繋がっており、A とした。（荒木）
A	ー（佐藤）
A	月１回の職員会議において研修会や会議で得た情報を共有する等、ノウハウ共有化に取り組んでおり評価できる。今後も支援に有効となるノウハウ紹介等の議題が増えていくことを期待する。（皆川）
A	地域の活性化に努めている。（成田）
A	頻度、回数とも目標どおり実施できており、テーマも適切である。（辰巳）